

杜陵

だより

第1-3号

発行：岩手県立杜陵学園
(児童自立支援施設)
〒020-0124
岩手県盛岡市
厨川二丁目3番1号
電話：019-641-3365

一年を振り返って

岩手県立杜陵学園長

今野 浩彦

この冬は、降雪が少なく、子どもたちが作業の時間に雪かきをしたのは一回だけでした。ここ数年毎年のように暖冬と言われてきましたが、このような冬は初めてです。やはり地球温暖化の影響なのでしょう。

さて、今年度は、八名の子どもたちで学園生活が始まりました。年度途中で十名の子どもたちが入園、三名が退園し、現在は十五名の子どもたちが生活しています。

三月中には、小学四年生と小学六年生がそれぞれ一名、中学三年生が四名、計六名の子どもたちが退園予定であり、新たな生活に向けて準備を進めています。

この一年間を振り返ると、様々なことが思い出されます。宮城県で開催された東北・北海道地区の野球大会で、チーム一丸となって

北奥羽大会。練習期間が短かった中でも、抜群のチームワークを発揮し、見事準優勝に輝きました。

戦い抜き二十九年ぶりに優勝したこと、この優勝により出場権を得て参加した大分県で開催された全日本少年野球大会では、一回戦で準優勝チームに二対九で敗退したものの、大雨の最悪のコンディションの中、一人ひとりが試合終了まで集中して自分の役割を果たし続けたこと、この全国大会のため殆ど練習ができずに臨んだ北奥羽スポーツ交歓会でのバトミントン競技では、練習不足を励まし合いなどのチームワークで補い準優勝したこと、学習発表会では、努力を積み重ねた結果、多くの来賓や保護者の皆様の前で緊張しながらも堂々と演奏などをやり遂げたこと等、子どもたちの秘めた力や可能性に驚くことばかりでした。

このまま良い年度を終えることができそう

だと思っていました。ところが、新型コロナウイルスの国内感染が発生し、その拡大に伴って、厚生労働省等から感染症対策を講じるよう通知がありました。当学園では、これまでも感染症対策を講じてきましたが、今回の通知や報道等を受け、子どもたちの健康を守るために、「持ち込まない。持ち込ませない。」を合言葉に「職員の出勤前の検温の実施」や「来園者の検温、アルコール消毒の実施」、「保護者との許可外出や一時帰省の当面の見合わせ」などを決定したところであり、保護者や関係者の皆様には何卒ご理解いただきたいと思います。

最後に、保護者や関係機関の皆様には、この一年大変お世話になりました。引き続き、皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

全国野球大会。飛行機で大分まで移動しました。惜しくも一回戦敗退となりましたが、大会を通して貴重な経験を積むことができました。

事業報告生口

分校・分教室事業報告

北杜分校・北杜分教室は、開校以来、十年を経過しようとしています。

今年度も児童生徒一人ひとりに応じ、「自己を見つめ、こころ豊かにたくましく生きる児童生徒の育成」を目指して学校教育を行ってまいりました。近年、特別な支援を必要とする児童生徒が多い中、日常の授業や進路指導等には、細心の注意と工夫を凝らして取り組んできました。基礎的基本的事項を精選し、きめ細やかな指導を行う中で、児童生徒の学習意欲や学力は向上し、将来を見通して日々の学習に取り組む姿が多く見られています。

各学期の始業式・終業式には、児童生徒が決意発表する場を設け、学校・学園生活への意欲の高揚と自己表現力を高める一助としています。諸行事の振り返り作文と相まって書く力も向上しました。また、定期テスト・実力テストも実施し、学習の成果を確認しながら進路指導を充実させています。

行事では、学園職員と協力し、遠足は、葛

巻高原で牛の餌やりやシイタケ栽培などの体験学習を行い、学習発表会では、スライド発表、誌の朗読、楽器演奏、合唱、学級展示等に取り組み、心身ともに大きく成長することができました。また、修学旅行は小六が、北海道函館へ、中三は函館・大沼へ行き、思い出に残る行事となりました。その他、年間を通した野球活動、奉仕・作業活動、スキー練習など児童生徒たちとともに歩み、前進することができた一年でした。中でも二九年ぶりのブロック野球大会優勝では、ワンチームとして一生懸命取り組む姿に大きな感動をもらうことができました。(佐々木 衛)

生活指導班事業報告

自立支援の充実のため生活指導班が取り組むべきことの一つに、「みんなが安心して暮らせるよう、暴力を無くすこと」があります。そのため、地域や児童相談所の協力を得て「安全委員会」を設置しています。今回はその活動内容を紹介します。

① 毎月の暴力に関する聞き取り：日課では「安全の時間」と呼んでいます。潜在的な暴力をいち早くキャッチするため、単に暴力の有無だけでなく生活の様子を含め、担当支援員が児童一人一人から丁寧に聞き取りをして

います。

② 会議の定例及び緊急開催：毎月一回の定例開催のほか、重大な暴力行為があった場合には緊急に開催します。暴力行為に関する審議を行い、再発防止のための助言を行うことでもあります。直接児童から聞き取り、暴力を止める方法を児童と担当支援員が一緒に考えていくという気持ちを再確認する場ともなります。

今年度は昨年度に比べ、入所児童が多いためもあるせいか問題行動に対する検討時間が増えました。小さな問題を取り上げることで、重大な問題になりませんでした。

今後も、安全で安心な生活の実現を目指し児童と共に取り組んでいきたいと思えます。

(佐藤 (好))

三学期終業式。各児童が学期の振り返り作文を発表しました。どの児童も真剣に発表しており、成長が感じられました。

学習指導班事業報告

杜陵学園では、決まった日課の中で、仲間や職員とともに規則正しい生活を送っています。課題と向き合う時間も多くある中、適度な息抜きができるよう、学習指導班では、季節の変化を感じられ、学びながらも楽しめる行事を分校と協力しながら実施しました。

今年度は、毎月の誕生会のほか、お花見会や外食訓練（四月）、遠足（五月）、学習発表会（十月）、クリスマス会（十二月）、「ジブリの大博覧会」見学やスキー教室（二月）、卒業・進学・進級を祝う会（三月）を行いました。また、長期休みには、「魔法の美術館」見学（夏季）、プロバスケットボール観戦や初詣（冬季）などを行いました。特に今年度は、「ジブリの大博覧会」が盛岡を巡回会場とする幸運に恵まれ、希望者はジブリの世界に触れる貴重な体験ができました。

十一月以降は、小学生く中学二年生までの児童は、スポーツ活動か文化活動を自由に選択できる日課を設け、自分の希望に合わせた活動にも取り組みました。自分で選択することで、より意欲的に取り組む姿を見ることができました。

今後も、子どもたちの可能性や意欲を引き

出していけるような行事や活動を企画していきたいと思えます。
(佐々木(美))

スポーツ指導班事業報告

クリスマス会。各寮で出し物をし、大いに盛り上がりました。サンタクロースも登場し、プレゼントを頂きました。

スポーツ指導班では、三学期の行事としてスキー教室を実施しました。学園にあるスキー山を使ったスキー授業を一月中旬から開始し、その総まとめとして二月七日に八幡平パノラマスキー場に行きました。初心者の子も多、学園での授業ではうまく滑れず、苦手意識を持つってしまう児童もいましたが、ゲレンデに出て徐々に上達し、最後には「楽しい。」「もつと滑りたい。」と話し、全員がスキーの楽しさに触れることができました。また、公共の場に出て、トラブル等なく職員の指示を聞いて行動できており、子どもたちの成長を感じました。

杜陵学園では、今年度も野球とバドミントン

を中心に取り組みました。特に、野球では東北ブロック野球大会で優勝し、なかなか経験できない全国大会を経験させることができました。関係者の皆様には、本当に多くの支援をいただきました。心より感謝申し上げます。来年度も引き続き、子どもたちの成長をこれからも温かく見守ってくださいますようお願いいたします。
(小野)

ロードレース大会。各児童が自己ベスト更新を目標に参加しました。参加児童全員が無事完走することができました。

学園中庭でのスキー練習。今年は雪が少なく、練習する機会があまりありませんでしたが、スキー教室に向けて意欲的に取り組みました。

作業指導事業報告

昨年に引き続き、只野が作業指導班の事業報告をさせていただきます。

今年度も畑作業を中心とした内容でした。一年を振り返ってみると、児童先生が共に考えながら、そして楽しみながら作業をすることができたと思うのは、私だけではないはずです。それもそのはず、ただ単に畑仕事をしていたのではなく、肉体労働は筋トレ、収穫は調理実習で美味しくいただくなど、労働の対価を何らかの報酬に置き換える発想の工夫が出来る児童が今年も多く、やらされている感の無い作業時間だったのです。このように、児童の持つ力が引き出されている中での作業だったからこそ、先生方もつられるように楽しく作業が出来、おのずと力が入ったのではないのでしょうか。

最後に来年度は今年よりもより能動的な作業活動となるよう工夫していきたいと考えております。具体的などころはまだ申し上げることはできませんが、児童たちが自ら考え自ら活動に参加することができるよう、作業指導班に限らず学園全体として取り組んでいきたいと考えておりますので、是非私たちに声

援をお願いいたします。

(只野)

調理実習。さんまの三枚おろしに挑戦しました。先生方に教わりながら、恐る恐る包丁を動かしました。児童全員真剣に取り組みました。

児童入所状況

月	1	2	3	延計
月初日	12	13	15	
人数				
月中入所	1	2	0	3
月中退所	0	0	5	5

皆様からのご意見・ご感想は、インターネットでも受け付けております。

<http://www.pref.iwate.jp/soshiki/hofuku/011283.html>

主要行事(4月~7月)

- 4月 始業式・決意発表会
グランド開き
お花見会
- 5月 ゴールデンウィーク
中間テスト
- 6月 遠足
- 7月 全日本少年野球東北・北海道地区大会
期末テスト
反省作文発表・終業式

編集後記

今年度の杜陵だよりは、今回で最終号となります。杜陵だよりの編集作業は、いろいろな行事や出来事を振り返る貴重な機会となりました。子どもたちに信頼される大人でありたいとがきながら、子どもたちの頑張りや成長に背中を押してもらった一年でした。来年度も、学園の中で起こっているそういった子どもたちの頑張る様子や日々の成長を、杜陵だよりから、もつとわかりやすく伝えたいと思います。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

(佐々木(聖))